

(4面から続く)

ます。日本の検診率の低さはが原因であり、子供のころからのがん教育の重要性が指摘されています。生活習慣の改善、がん検診の重要性等を学校教育に知識として取り入れることにより今後は親に伝える逆教育の効果もあり、同時に命の尊さを学ぶ機会にもなります。文部科学省は本年度からモデル校でのがんに関する先進的授業や教員研修を実施します。本市ではどのよ



上沢 本尚 議員《公明党》

### コミバス相模が丘方面に 中型バス導入を

コミュニティバス事業については平成16年の試行運行から始まり、平成24年春には本格運行され、市民にも喜ばれている事業です。

特に、相模が丘地域は利用者が大変多く、小松原・相模が丘循環コース、小田急相模原方面循環コースの2路線が運行されていますが、それでも「定員オーバーで乗れなかった」「20人から30人乗れるような中型バスにしてほしい」という声が多くあります。

確かに小松原・相模が丘循環コースの年間利用者は平成24年度2万9263人と5コースの中で最も多く、次いで小田急相模原方面循環コース



伊藤 正 議員《新政いさま》

### 相武台前駅南口に バス発着所の設置を

相武台前駅南口の市道5号線の整備が7月には完了し、変則的でわかりにくい南口駅前交差点の改良も行われます

うにがん教育に取り組みれるのかお聞きします。

**健康部長** 引き続きがん検診受診率向上のため啓発を図るとともに、働く世代の女性支援のための推進事業として、無料クーポン券の配布や、コール・リコールについても25年度同様に実施致します。

**教育長** 小・中学校ともに生活習慣病の一つとしてがんを取り上げて学習しています。モデル校での先進的授業の情報や教員研修を活用し、今後も研究を進めたいと思います。

が2万1768人と続いています。乗り残しの人数も、小松原・相模が丘循環コースが341人、小田急相模原方面循環コースが117人ということも明らかになりました。

相模が丘地域はコミュニティバスの利用が多いことから、現状よりも定員をふやし、中型バスなどの運行にすべきであると考えますが、ご所見をお伺いします。

**都市部長** 乗り残し解消も含め、平成26年度に行うコミュニティバス運行見直しについては、コースルート、便数などのあり方や、中型バスの採用も含めた中で検討を進めてまいりたいと思います。

が、その改良内容をお示しください。

また、この交差点から相武台第1踏切まではバスが運行

しており、渋滞の一因となっています。南口にバス1台分の敷地を確保できれば、ターミネールを設置することでバスが踏切を渡らずに済みま

す。バス発着所を南口に設けることは、渋滞の緩和と安全安心な歩行につながり、人と車両の接触事故の危険性も削減されると考えますが、当局の考えをお聞きします。

**都市部長** 南口駅前の交差点は、横断歩道の位置や歩行者の滞留場所の形状変更を行い、歩行空間を改善します。また、3方向の交差点であるため、通行車両の優先性を明確にし、円滑化を図り安全確保に努めるものです。

現在は、平成17年10月に策



芥川 薫 議員《新政いさま》

### 総合運動公園の実現に向けて

市内のスポーツ施設、野球場について、現在の座間市西部地域土地利用方針では、新田宿グラウンドが位置する場所はスポーツ複合ゾーン、その南側は農地ゾーンとなっております。

ひとつの案として、将来その一帯を総合運動公園、それに付随する施設、野球場などのスポーツ複合ゾーンにできないものか伺います。また、新田宿グラウンド、市民球場においては、今後、施設の老朽化が進み、多額の修繕費用がかかるわけですが、どのような計画や考えをお持ちか伺います。

**健康部長** 新田宿グラウンド、市民球場の施設の大規模修繕には、多額の費用を要することから、今後、座間市公共施設白書の指針の策定を受

定した座間市交通バリアフリー基本構想に基づき市道5号線の整備を行っており、相武台前駅南口周辺地区のまちづくりについては、バス発着所の設置などについて駅前商店街地権者の皆様とバス事業者の理解が得られますよう、土地の確保等も含め検討してまいりたいと考えます。

安全・安心な社会の実現に向けて「防災対策」ということで、マンションの耐震化について質問します。

過去の答弁において「将来的には分譲マンションの耐震化についても視野に入れた対応が必要と考えている」と述べられていますが、その後どのような検討がされたのかお聞きします。

**都市部長** 市としてはまず、耐震化率の低い木造住宅について耐震化の促進に努めているところであり、現在のところマンションの耐震化について対応検討までには至っておりません。



芥川 薫 議員《新政いさま》

### 総合運動公園の実現に向けて

けて、現状の実施計画を含め、修繕計画を再検討してまいります。

**【再質問】** 再検討の際は、ぜひ、新田宿グラウンド南側一帯をスポーツ施設ゾーンとして検討してください。

**健康部長** グラウンド南側は、土地利用規制もあり、整備には大きな課題が存在しますが、将来的に多様なスポーツ施設のあり方が求められていることもあり、今後、研究する中の一つの提言として受け止めさせていただきます。

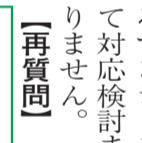


安全・安心な社会の実現に向けて「防災対策」ということで、マンションの耐震化について質問します。

過去の答弁において「将来的には分譲マンションの耐震化についても視野に入れた対応が必要と考えている」と述べられていますが、その後どのような検討がされたのかお聞きします。

**都市部長** 市としてはまず、耐震化率の低い木造住宅について耐震化の促進に努めているところであり、現在のところマンションの耐震化について対応検討までには至っておりません。

**【再質問】** マンションの建て替えの支援制度は利用可能



竹田 陽介 議員《新政いさま》

### マンションの建て替え

では、国の補助を受ける場合、地方公共団体(市)の補助が必要という規定があります。市でマンションに対する建て替えを補助する体制がない中、国の制度を使いたいと、市内のマンションから申請があった場合、国の補助メニューを利用することができるとお聞きします。

**都市部長** マンション建て替えの支援制度については、優良建築物等の整備事業に該当するのであれば、利用することができると。今後、相談があれば市としてもお話を受け、検討してまいりたいと考えます。

**【再質問】** 再検討の際は、ぜひ、新田宿グラウンド南側一帯をスポーツ施設ゾーンとして検討してください。

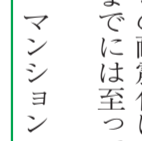
**健康部長** グラウンド南側は、土地利用規制もあり、整備には大きな課題が存在しますが、将来的に多様なスポーツ施設のあり方が求められていることもあり、今後、研究する中の一つの提言として受け止めさせていただきます。

では、国の補助を受ける場合、地方公共団体(市)の補助が必要という規定があります。市でマンションに対する建て替えを補助する体制がない中、国の制度を使いたいと、市内のマンションから申請があった場合、国の補助メニューを利用することができるとお聞きします。

**都市部長** マンション建て替えの支援制度については、優良建築物等の整備事業に該当するのであれば、利用することができると。今後、相談があれば市としてもお話を受け、検討してまいりたいと考えます。

**【再質問】** 再検討の際は、ぜひ、新田宿グラウンド南側一帯をスポーツ施設ゾーンとして検討してください。

**健康部長** グラウンド南側は、土地利用規制もあり、整備には大きな課題が存在しますが、将来的に多様なスポーツ施設のあり方が求められていることもあり、今後、研究する中の一つの提言として受け止めさせていただきます。



星野 久美子 議員《日本共産党》

### 振り込め詐欺の被害から 市民を守るには

警察庁の資料によると、2013年の全国における特殊詐欺の被害は1万1154件、金額は486億9325万円。被害者は70歳以上の女性が最も多いが、10代から60代まで全ての年代が被害に遭っていることや、この数値が警察に被害届が出された件数のみで実際の被害はこれをはるかに上回るものであるため、警察では一層の注意を呼びかけています。一方、本市の昨年の振り込め詐欺発生件数は23件で振り込め詐欺以外の特殊詐欺3件を含めた被害総額は1億円を越えました。また、2014年に入っても被害は増え続け2月末で8件、被害

額は1770万円です。これを受け、座間警察署では特別チームを立ち上げ、高齢者宅を訪問し、啓発チラシを配布するなど注意喚起を行っています。振り込め詐欺は犯罪であり基本的には警察の対応ですが、市民の安全・財産を守るために自治体としてできることは何か、犯罪防止のための周知に努めるべきと考えますが、見解を伺います。

**市長** 市民の安全・財産を守ることは公に課せられた使命です。被害に遭わないよう老人会の集まり等では必ず注意喚起をしています。これからも意を強くし、庁内あげて取り組んでいきます。

増え続け2月末で8件、被害

### 陳情の結果

3月定例会の各常任委員会で審査した陳情は、次のとおり決まりました。

◎ 採 択  
陳情第24号 神奈川県に対し公契約条例を制定するよう意見書の提出を求める陳情

◎ 不 採 択  
陳情第15号 平成26年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情

◎ 継続審査  
陳情第22号 子宮頸がん検診対策の充実を促進し、HPV予防ワクチンを接種した子供たちへの調査を求める陳情  
陳情第23号 子宮頸がんワクチン事業の一時中止を求め、早急な調査を開始する意見書を国に提出することを要望する陳情

### 請願・陳情の 提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。

なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。  
☎046(252)8872